

2006 年度

科目名 生活科学	対象学科・学年 文学部日文1回生 教育教福1回生 文学部英米1回生 文学部教福1回生 文学部文財1回生 文学部コミ1回生	担当者 吉井 典子
授業テーマ ”暮らし”の質的向上を目指して。		
授業の概要と目標 ”暮らし”を科学的な視点でとらえ、生活を取り巻く物質的環境と社会的な存在としての人間との関わりを考える。		
評価方法 前期末レポート。学年末は、筆記テストで評価する。		
テキスト 「私たちの生活科学」	著者 中根芳一編著	出版社 理工学社
参考書 「生活福祉学」	著者 木村 汎編著	出版社 相川書房
授業スケジュール・内容 - 生活科学とは - 家政学と生活科学 - 暮らしのゆたかさ（ゆたかさの国際比較） - 日本の暮らし・パプアニューギニアの暮らし - 生活時間・余暇 - 親子のコミュニケーションと余暇 - 余暇活動と安らぎ感 - 家庭経済 - 生活保護について - 契約とは - 消費者問題、クーリングオフ - 家事労働 - 家事労働の合理化、社会化 - 親子のコミュニケーションと家事労働 - 家族を考える - 結婚について、配偶者の選択条件 - 今どきの離婚事情 - 家庭崩壊と病理現象 - 健康と食生活 - 子供達の食卓はいま - 衣生活—いかに着るか— - ファッションの歴史 - 住まいの工夫 - 快適な住まいと環境 - 暮らしと福祉 - 介護を考える - 扶養と義務 - 公的介護保険 21世紀の家庭生活 - テスト 生活、人間関係、家族、結婚、環境、女性の自立、老人介護などについて講義する。できるだけ身近な問題を取り上げ、生活全般に対して理解を深めるよう講義したい。		